

7月大雨災害への災害協定にもとづく

概ね2週間の会員企業の活動状況

令和4年7月の大雨により、宮城県内でも大崎地方を中心に多くの地域において堤防決壊・越流による浸水被害や土砂崩壊等による被害が発生致しました。宮城県の指定地方公共機関に位置付けられる当協会として、各機関との災害協定に基づき、13日よりパトロール作業にあたり、災害対応に努めてきたところであります。

この度、初動の概ね2週間の会員企業における活動状況についてとりまとめました。

- 活動日数 7月13日～28日の期間（16日間）
- 作業人員（延べ） 2,933名
- 出動重機 バックホウ・ホイールローダ（延べ） 428台
 ダンプトラック等（延べ） 595台
 排水ポンプ 12台
 水中ポンプ 173台
 その他建設資材多数
- 対応内容 緊急排水、堤防決壊対応、道路啓開、土砂撤去、施設の応急復旧、パトロール、災害ゴミ対応等
 ※別紙…主な対応写真のとおり

令和4年8月9日



一般社団法人 宮城県建設業協会

【問合せ先】

一般社団法人 宮城県建設業協会
専務理事兼事務局長 西村 博英（にしむらひろひで）
住所：仙台市青葉区支倉町2番48号
電話：022-262-2211
FAX：022-263-7059
Mail：jigyo●miyakenkyo.or.jp

（●を@に変えてください。）

令和4年7月大雨災害による16日間の主な活動



大崎市古川西荒井地区ポンプ車排水作業

出来川堤防決壊緊急応急作業



名蓋川堤防決壊緊急応急作業

R4土砂流出撤去等作業

大崎市災害ゴミ対応



R349道路流失復旧作業（南三陸町）

大川災害復旧対応作業（気仙沼市）